

グリーンレンジャー ～D班～



大里郁子
小川拓人
菅野 浩
酢田俊之
○田中真稔
長島雄二

2018年10月22日(月)

1. 目的地までの移動

岩手医科大学（矢巾）（※無線で適宜情報交換：AM/FMラジオ等）



R4（※ガソリンスタンド・店の有無と営業状況を気にしつつ…）



花巻空港IC



宮守IC（※ガソリンの減りも考慮してコース選択）



R283



道の駅遠野風の丘（※本部へ遠野までの状況を衛星電話で報告）



R283・釜石自動車道



釜石保健所（※釜石保健所本部に3位入賞し、指示受け）



国立釜石病院

国立釜石病院 病床数180床

国立釜石病院
独立行政法人
国立病院機構
釜石病院

〒985-0801 釜石市定内町四丁目七番一
号
電話 (代) 二二三〇七一一
FAX 二五〇一八二〇〇
管理者 院長 土肥 守

診療案内
・小児科・内科
・神経内科
・リハビリテーション科
・重症心身障害児(者)病棟(しゃくなげ愛育園)

頭痛外来

受付時間 午前八時三十分～午前十一時まで
休診日 土曜・日曜・祝祭日
但し、急患はいつでも受付いたします。



到着時の病院状況

- ・水道○
- ・下水×
- ・電気× (軽油式自家発電で2日間分)
- ・ガス×
- ・通信× (電話・ネット共)
- ・酸素△ (配管不安でボンベ対応)
- ・患者：外来に赤3名、緑10名

倒壊の危険は？



3. 活動の概要

- 病院の状況確認
- 病院の被災状況
- 病院支援（籠城？）
- 物資調達
- 避難所アセスメント
- ○○退治（※あとで詳しく）
- 活動環境整備

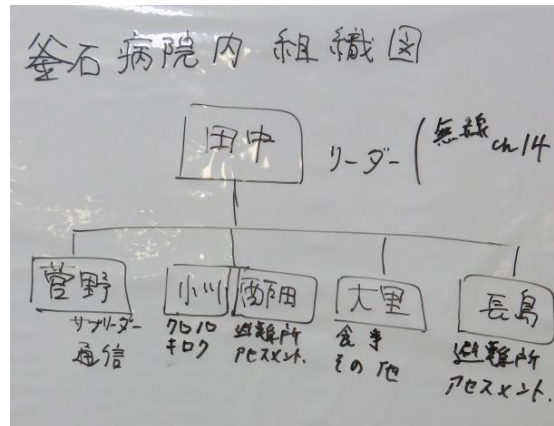
→ 食事、ラップポン、寝床

活動方針

- 病院支援の継続
 - 物資の把握
 - 人員の把握
- 避難場所の(残り3つ)のアセスメント (長島・那須川)

To Do リスト

時刻	依頼内容	完了	その他
14:52	簡易・仮設トイレ		
14:52	軽油補充		
15:57	3号輸液 500ml 500本	(済)	300本は確保 残り200本は 明日依頼
16:17	Q 500L 30本		
明日朝	病院状況確認 (ヒト、モノ、バシ)		
明日 AM	避難所アセスメント 継続		



4. 拠点の環境



お借りした部屋

- ・ 会議室 1
→ 本部と休憩
- ・ 図書館
→ トイレと着替え



どちらも北側にある

中からカギのかかる図書館 トイレ&更衣室



「癒し」と「整理整頓」 工夫したこと

南天を求めて25m先に「衛星電話配置」



5. 課題と対応

【活動初期】

役割分担したが、スタッフそれぞれがバラバラに動いて誰がどこにいてどこまで進んでいるか把握できなかった。

⇒優先順位を考慮し、役割を再付与（イメージ：6種類×1人 ⇒ 3種類×2人）
リーダーへ適宜進捗を報告する。時間を決めることを再確認。

【中期】釜石保健所より4ヶ所スクリーニング指示を受けたが、場所的な問題もあり衛星携帯を4台持っていたが1台しか活用できなかった。地図もなく、行く場所を把握するのに時間がかかり、時間帯が遅く1ヶ所しか行けなかった。

⇒マッピングの工夫と釜石に行くと決まった時点での入手が先決だった。

【後期】釜石医療圏の組織図がなかった。

⇒「あったほうがいいかな？」と思っている間に多忙でそのままになってしまったが、明記しておくべきだった。（リスク予知の重要性）

★コントローラーからのアドバイスのあとは、概ね柔軟に対応出来た。

6. DKAT合流

DKATとは？ Disaster KAMEMUSHI Attack Team



7. まとめ



★Command&Controlの重要性

★カウンターパートの知識習得

有意義な研修、ご助言ありがとうございました🐜